車の運転 AI使い評価

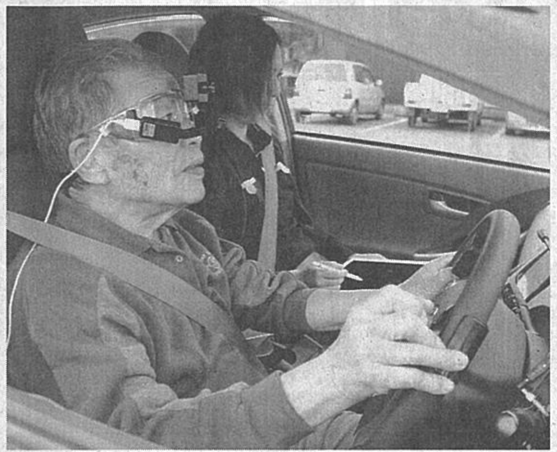
オファサポート、年内めど実用化

目の動きや反応時間測定

教習所向けに販売

自動車教習所や介護施設運営のオファサポート（宮崎市）は人工知能（AI）を使った自動車運転評価システムを開発、年内をめどに実用化する。コンピューターに機械学習させた模範走行と比較するとともに、宮崎大学と共同開発した装置で視野や眼球の動きも測定し、運転能力を評価する。高齢者による交通事故が増えており、全国の教習所へ外販を計画する。

「SDAP（スマート・ドライビング・アセスメント・プログラム）」と呼ぶシステムで、このほど特許を取得した。


カメラ3台を着けたゴーグルを装着し、運転評価を受ける高齢者

全地球測位システム（GPS）を搭載した教習車で、複数の教習指導員が教習コースを何度も走行し、データを蓄積。コンピューターに機械学習させ、模範走行を割り出した。

車両にはGPSのほか、ハンドルの動きや脱輪を感知するセンサーも付けた。開発には、メディアアートで知られるクリエーターの徳井直生氏の協力を得た。

眼球の動きを測定する装置は、宮崎大工学教育研究部の田村宏樹教授と共同開発。被験者はカメラ3台を取り付けたゴーグルを装着し、正面の映像と左右の眼球の動きを装置が捕捉する。

SDAPでは、模範走行と実際の走行とを比較するほか、坂道発進での後退距離や信号が赤に変わってからブレーキを踏むまでの反応時間、交差点での視線やハンドル角度なども把握できる。

助手席に乗車した教官の操作で、疑似人形を路上に飛び出させ、それへの対応なども数値化できる。

改正道路交通法により、3月から75歳以上の運転免許更新に講習予備調査（認知機能の検査）が義務付けられる。その結果、判断力や記憶力が低下していると認められたりすると、専門医の臨時適性検査を受けることになる。

服部幸雄社長は「SDAPでは実際の運転内容を可視化できるので、判断材料として使え、高齢者本人も納得してもらいやすい」と話す。

同社は自動車教習所を経営する傍ら、2014年に全国でも珍しいリハビリに自動車運転を取り入れた介護施設を開業。SDAPも昨年12月から活用し、精度向上に努めている。

育児支援や産品拡販 重点

鹿児島県 17年度予算案8099億円

鹿児島県は10日、一般会計で8099億6900万円の2017年度当初予算案を発表した。16年度当初比1・5%減で9年ぶりの減額だが、知事選・参院選などの特殊要因を除くと実質的に16年度と同程度で8千億円超は3年連続。子育て支援や農林水産物の販売力向上などに力を入れる。

乳幼児医療費助成在り方検討事業（約110万円）、新かごしまPR戦略（仮称）展開事業（約1980万円）、大規模スポーツ施設の在り方検討事業（約320万円）などを新たに盛り込んだ。空間放射線量を計測するモニタリングポスト増設など原子力防災対策事業は約8億5千万円。

歳入は県税1438億300万円（0・9%減）、地方交付税2677億2200万円（0・2%減）など。17年度末の県債残高（臨時財政対策債など除く）は1兆1056億円で16年度末比で243億円減る見込み。

三反園訓知事は同日の記者会見で「タイトルは『新しい力強い鹿児島の船出』。厳しい財政事情のなか行財政改革を進める方針は堅持し、県政のさらなる発展に取り組む」と述べた。

同日発表した16年度3月補正予算案は一般会計を407億1100万円減額補正する。補正後の一般会計総額は8240億1800万円と15年度比で1・9%増。

福岡県予算案1兆7200億円

医療・福祉産業を育成

福岡県の2017年度の当初予算案の概要が10日、分かった。一般会計の総額は1兆7200億円規模で、16年度より4・5%少なくなる見込み。医療・福祉分野や自動車産業など成長産業の育成に新規支援策を多く打ち出す。企業誘致のための工業用地造成への着手とも合わせ、雇用や景気の拡大を狙う。24日に開会予定の2月県議会に提案する。

小中学校の教職員の給与負担が政令市に移行されたことなどから、当初予算は05年度以来の前年度比減額になる見通し。税収が減少し歳入も前年度比で800億円減る。

車の新技術PR

県は新たな成長産業の育成に力を入れる。医療・福祉分野では将来的に県が一部の機能移転を目指す理化学研究所と地域の企業・大学との共同研究による医薬品など製品開発を支援。飯塚病院とメーカーなどが連携し独自医療機器開発につなげる、飯塚市内で昨秋始まった取り組みも支援する。計約1億4850万円を計上した。

2017年度の主な予算案

項　目		金　額（千万円）
産業	北部九州自動車産業の振興	7
	医療福祉などバイオ・メディカル分野の開発支援	14
	苅田町の工業用地整備	160
農業	農林水産物のブランド力強化	9
	「博多和牛」など畜産の競争力強化	49
観光	宗像・沖ノ島と関連遺産群など世界文化遺産の登録・保全関係	17
	北九州空港を活用した外国人観光客の集客	6
	貴賓館（福岡市）を中心とした天神中央公園を活性化	17

北部九州地域の自動車産業を成長させるための支援でも、計約7200万円を確保。電子・電装部品を手掛ける九州の大手・中堅企業に対し、地場企業が自社の技術や製品をアピールする商談会や、今後拡大が見込まれる「自動走行」をテーマにした研究会・セミナーの開催を計画する。

工業用地を増設

県が後押しを続ける燃料電池（FC）分野での支援策も充実させる。FCバス導入に向けた研究会を計画。この他、九州大学の研究開発支援として1千万円盛り込む。再生可能エネルギーから作る電力を利用した水素製造や高効率の水素製造技術の研究を後押しする。

雇用を生み出す企業誘致も促進する。苅田町の苅田港に隣接する新松山地区の工業用地増設の整備費として16億900万円を計上。事業期間は17～21年度で31㌶造成する。15年から40㌶の分譲を始めており、港や北九州空港、北九州自動車道へのアクセスの良さから人気を集めていた。

中小企業支援のため、新規創業資金の保証料引き下げや融資利率を引き下げるための融資枠を6900億円設けた。試作品の製品化に向けた調査費や商店街活性化の費用も新規で計上した。

県内の有効求人倍率が高い値で推移
人材育成、人
充実させる。
と連携した県
自動車関連、
人材の育成に
0万円計上。
の合同会社説
や関西地方で
ントにブース
など福岡で就
「IJターン」
女性の活躍
進する支援策
む。保育の担
するための事
5000万円
での女性活躍
取り組みを紹
女性活躍に向
境の醸成も推

17年度 創薬や機器開発支援

テスラ、福岡で急速充電

電気自動車、九州初の施設

米電気自動車（EV）メーカー、テスラは10日、福岡県須恵町に自社製品専用の急速充電施設を開いた。九州では初。同社が「スーパーチャージャー」と呼ぶ設備で、直流電力を直接バッテリーに送電し、30分の充電で約270㌔走行できるという。東京や大阪などに続く国内14カ所目で、充電は無料。

九州自動車道の須恵スマートインターチェンジ（IC）近くにある、ホームセンターのコメリパワー須恵店敷地内に設置した。

開設式に出席した同社日本法人のニコラ・ヴィレジェ社長は「（最も西の拠点となる）福岡にスーパーチャージャーができたことで、日本全国をより安心して走ってもらえるようになる」と話した。

バレンタイン「コト商戦」に

九州の百貨店、知恵絞る

■「イケメン」のカフェ

■試食会通じ情報発信

来週14日のバレンタインデーを前に、九州の百貨店が顧客のハートを射止めようと知恵を凝らしている。「モノ」から「コト」に消費ニーズが移るなか、各社が目玉として打ち出すのが、物販だけにとどまらない体験型のイベントだ。

博多阪急（福岡市）は学生服に身を包んだ「イケメン」がウエーターを務める「ホームルームカフェ」＝写真＝を期間限定で営業中だ。利用客から募った「胸
を店内に飾り
インソングを
る。
「チョコに
ウイスキーは
か」――。バ
商戦まっただ
本店（福岡市
テンダー姿の
物客に声をか
屋では特設会
インスペース
年からチョコ
に20種類以上

沖縄の景気判断 1月も据え置き

日銀「全体として拡大」

日銀那覇支店は10日、1月の県内金融経済概況を発表した。堅調な個人消費、好調な観光需要などを背景に
全体として
る」との基
月連続で据
行きは本土
経済の動向
る必要があ
き続き拡大

高校生に宮崎企業紹介

県など、14日に大型説明会

宮崎県と県教育委員会、宮崎労働局は14日、就職希望の高校生を対象に地元企業の魅力を知ってもらうためのガイダンスを開く。参加者は来春卒業予定の高校2年生と教員ら約2300人に上り、県が今回のような大規模なガイダンスを実施するのは初めて。全国で最も低い高校生の県内就職率を改善し、県内での就職を促すのが狙い。

会場はシーガイアコンベンションセンター（宮崎市）4階サミットホールで、午前
後3時半ま
ガイダン
業109社
者は事前に

北九州スタジアム完成

ピッチ近い客席

北九州市
3のギラヴ
の本拠地と
いた北九州
（愛称・ミ
スタジアム
成し、10日
写真。JR
歩7分の好
ンドがピッ

支局☎

西部編集部	092-473-3348
北九州	093-571-6101
佐賀	0952-23-4597
長崎	095-822-1707
大分	097-532-4932
熊本	096-364-6608
宮崎	0985-22-2754
鹿児島	099-222-2322
那覇	098-862-0148